

令和5年12月 横浜市立恩田小学校 TEL (961) 7651 FAX (961) 6014



子どもたちが安心して過ごすことのできる学校であるために

校長 山根 淳一

初冬の候、地域・保護者の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

さて本市では、横浜市いじめ防止基本方針に基づき、12月を「横浜市いじめ防止啓発月間」と位置付けています。 先日より学校ではすべての子どもたちからいじめに関するアンケートを取っています。これはいじめを早期に発見し、 「恩田小学校いじめ防止基本方針」に従い、組織立った対応を行うことで、いじめの早期の解消を目指そうとする取 組です。いじめはどの集団にも、どの学校にも、どの子どもにも起こる可能性があるという考えのもと、早期の発見、 速やかな認知、そして早期の解決に努めていきます。

先日「令和4年度の「暴力行為」・「いじめ」・「長期欠席」の状況調査結果」が横浜市教育委員会から発表されまし た。これによると横浜市内の小学校におけるいじめは前年度に比べて約4000件増加しており、10000件を超える いじめが認知されています。またその態様の半数以上は「冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言わ れる」となっています。これは単純に昨年一年間でこれだけ多くのいじめが増加したということではなく、上記のよう な軽微ないじめも市立学校は見逃すことなく積極的に発見し、早期解決に向け対応してきた結果であると考えます。 つまり10000件のいじめの認知により、それに関わる多くの児童が安心して学校生活を送ることができたということ であると私は捉えています。

恩田小学校の教職員もアンテナを高く張り、子どもたちの様子をこれからもしっかり と見ていきます。保護者の皆様におかれましても、お子様の様子で気になることがあ りましたら遠慮なさらず、ご一報いただけたらと思います。子どもたちの人権を守るた めには、学校と保護者の皆様が共に力を合わせていくことが欠かせません。安心して 学校生活を過ごすことができるよう、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

11月1日に第3回奈良中学校ブロック 学校運営協議会が行われました。今回の テーマは「いじめをなくすために行っている各校の取組」についてでした。協議会での話合いの様子を以下に掲載 いたします。

令和5年 第3回 奈良中学校区 学校運営協議会 実施報告

II 月 I 日(水)に桂小学校にて第3回学校運営協議会が行われました。はじめに桂小学校の授業見学を行い、その 後、各校から「横浜子ども会議」の取組について、写真や動画などを交えながら説明がありました。

今年度の「横浜子ども会議」の共通テーマは『つながる、広げる、いじめ未然防止の輪 ~いじめをなくすために一人ひ とりができること~』です。各校の児童・生徒と教職員で考え、行っている取組は様々で、お悩み相談を投函する「ポスト」 の設置、友達のすてきなところを褒める「ほめほめシャワー」「ほめほめタイム」、コミュニケーションを大切にする活動など が紹介されました。地域の方からは、「いじめに対する取り組み方に、時代の変化を感じる」という話がある一方、時代で変 わらないものとして「トイレを我慢してしまう子がいる」という話が上がりました。「子どもたちが我慢せずに自然の摂理とし て受け入れ、冷やかされないような取組を」という御意見をいただきました。また、全国学力学習状況調査の児童質問紙 の結果から、「いじめがあまり悪いことではないという認識の子も小学校から中学校へと成長するにつれて、『道徳的心情 が育ってきている』と肯定的に受け止めてよいのでは。」という御意見もいただきました。また、「いじめている側が『いじめ と思っていない』というケースもある。相手が嫌だと思ったらいじめ。話をきちんとして分かり合うことも必要。正義感も育て ていきたい。」という御意見もいただきました。

今回の協議会を受け、奈良中ブロックで、「学校として何ができるか」「家庭にはどう発信していくか」を改めて検討して まいります。